

令和3年度 生活科 授業改善推進プラン

大田区立池雪小学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- ・具体的な体験活動を通して、自分と身近な人々との関わりへの関心や、自分の生活を支えている人への感謝の気持ちをもつことができた。
- ・校内で見つけたバッタやかたつむり、ダンゴムシなどの生き物を、教室でお世話をしたり、観察をしたりすることにより、生命を大切にしようとする態度を育てることができた。

(2) 課題

- ・交友関係が狭く、自分や身近な人々、社会及び自然との関わりについて考える機会が少ない。
- ・昨年度末からの感染症拡大の影響で、もの・人・地域との関わりについての活動は非常に少なくなっており、考えを深める機会も減ってきている。
- ・自然との関わりが少ない。

2 授業改善のポイント（観点別）

(1) 低学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・公園で見つけたドングリや落ち葉など、自然のものを利用して、遊びや遊ばしに使うものを工夫して作るようにする。 ・コロナ禍で交流が制限される中で、直接の交流に加えて、タブレットを使ったりカードを作ったりする活動を通して、異学年との交流を行い、相手のことを想像したり、伝えたいことや伝え方を選んだりする。 ・校庭の四季をビンゴなどのゲームを通して観察することで、それぞれの季節の自然の特徴や違いを見つけるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ドングリや落ち葉など、自然のものを利用して遊ぶ。遊びに使うものを作ることで、その面白さや不思議さに気付くようにする。 ・校内の探検では、その場所を見るだけではなく、それぞれの場所の人に話を聞いたり質問する機会を設けたり、給食室などの仕事の様子を動画で見たりすることで、学校での生活が様々な人とかわっていることがわかるようにする。 ・学校探検や町探検での自分と社会との関わりに気付くことや、動植物の観察や、遊びの中で、空気やゴムなどの性質に気付いていくことなど、社会科や理科の学習内容に関連していることを意識しながら指導をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童の興味関心を大切にしたい活動を展開し、自分たちで不思議に思ったことや、やってみてみたいと思ったことから課題を見つけられるようにする。 ・身近な昆虫を飼育したり、季節のビンゴゲームや動植物の観察など、自然や動植物を感じたり触れ合う機会を多くし、自然や生き物への親しみをもてるようにする。 ・コロナ禍で交流の仕方に制限のある中で、人数の制限や、ICTの活用や、手紙やカードのやり取りなどで、すすんで触れ合い交流しようとする気持ちを育てられるようにする。